

令和2年4月21日

厚生労働大臣

加藤 勝信 殿

自由民主党大阪府支部連合会

会 長 大塚 高司

新型コロナウイルス感染症患者を診療している医療機関への支援に関する要望

日頃より、厚生労働行政の推進に御尽力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、大阪府内ではPCR検査の陽性率や感染経路の不明な陽性者数が急増しており予断を許さない状況が続いています。また、大阪府内の医療従事者は、地域で感染者が急増している中、更に、昨日は府内で3つの病院で院内感染が発生するなど、爆発的な感染拡大の可能性を危惧されています。また、医療従事者の感染リスクも高まる状況下において、適切な医療が提供できる体制の構築が大きな課題となっています。現下の状況を踏まえ大阪の医療体制が絶対に崩壊することのないよう国としての特段の支援を強く要望いたします。

また、我が党所属議員が各医療機関に対しヒアリングを行った結果、新型コロナウイルス感染症患者を診察する医療機関を含む全ての医療機関において、医療スタッフを守る感染防止用のフェイスシールドやN95 マスクなどのPPEが不足しており、医療崩壊に直面しているとの危機的な現状がうかがえます。大阪府にはPPEの備蓄が全くない現状を鑑み、医療崩壊を引き起こさないためにも国による「プッシュ型」支援を早急にお願ひ致したく強く要望いたします。

以上